

対口外交

大失態

安倍首相は総裁選で、「戦後日本外交の総決算」を表明しました。その一つが日平和条約の締結。ウラジ

オストクで開かれた「東方経済フォーラム」でロシアのプーチン大統領が「前提条件なしで（日ロ）平和条

約を結ぼう」と発言。領土問題の解決なしに平和条約を結べば、領土要求の全面放棄となりかねません。ところが安倍首相はその場で何の反論も抗議もせず、外交的に大失態を犯しました。

無条件の日ロ平和条約に反論なし

「領土」全面放棄の危険

日本共産党

改憲・暮らし破壊 許さない

平和の流れに取り残される

自民党総裁選挙（20日）で3選された安倍首相。「憲法改正に挑戦する」など、憲法9条に自衛隊を明記する改憲の野望むき出しです。

9条改憲は海外での武力行使を

9条改定

無制限にするもの。今求められるのは紛争の平和解決です。朝鮮半島の緊張は、南北・米朝会談で劇的に緩和。安倍首相の姿勢は平和の流れに取り残されています。



自民党
総裁選

安倍氏3選

安倍政治 破綻と行き詰まり

居直りに終始

強権ぶりは総裁選でもあらわ。石破元幹事を支援した斎藤農水相は、安倍応援団から「応援するなら辞表を書いてからやれ」と言わ

疑惑解明

れたことを暴露。安倍首相は森友疑惑を「縦割り行政が悪かった」などと開き直りました（17日、テレビ朝日「報道ステーション」）。

10%強行狙う

消費税

総裁選中は「アベノミクス」の手柄話に終始する一方、来年10月に消費税10%を強行すると宣言しました。暮らしと経済を壊す消費税増税は許せません。

言いたい放題

- 森友・加計疑惑に関して質問され「一点の曇りもない」「総選挙を行い、国民の審判を仰いだ」（14日、日本記者クラブ）
- 加計疑惑で加計孝太郎理事長とゴ

ルフや会食をしたのは問題だと指摘され、「ゴルフに偏見を持っておられる。ゴルフはオリンピックの種目にもなっている。ゴルフはだめでテニスや将棋はいいのか」（17日、TBS

ニュース23）

- 斎藤農水相への圧力問題を問われ、「よくあることだ、何か圧力をかけるといのは」（17日、テレビ朝日報道ステーション）

安倍語録